

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	治山事業（予防治山事業）					
地区名	おばたおくや 小畑奥谷					
事業箇所	しんしろしおばたあぎおくや ちない 新城市小畑字奥谷 地内					
事業のあらまし	<p>本地区は本件の南東部に位置し、豊川～矢作川水系の支流である一級河川豊川の上流に位置している。地質は変成岩帯で地殻変動等の影響を受けており風化が進むと崩れやすい特徴を持ち、台風等の降雨により不安定な土砂礫が堆積するなど、荒廃した溪流が多い。また、間伐の遅れから森林が過密となり下層植生が衰退した荒廃森林が多い。</p> <p>このため、治山施設を整備することにより荒廃溪流を保全するとともに、本数調整伐を実施し下層植生の回復を促し土砂災害防止機能の高い森林を目指した。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>治山ダム2個を設置し荒廃溪流の保全を図る。</p> <p>本数調整伐1.69haを実施し土砂災害防止機能の高い森林を形成する。</p> <p>【副次目標】（事前評価時に設定した場合、記載する）</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	0.5億円	■工事費 0.5億円、□用補費		億円、□その他	億円	
事業期間	採択年度	2018年度	着工年度	2019年度	完成年度	2019年度
事業内容	治山ダム2個、本数調整伐1.69ha					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>治山施設が整備されたことにより、荒廃溪流が適切に保全され山地災害の未然防止が図られ、本数調整伐を実施したことにより、土砂災害防止機能の高い森林の形成が図られた。</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>事業目標を達成しており適切である。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	事業目標は達成されており、今後の事業評価の必要性はない。					
改善措置の必要性	事業目標は達成されており、改善措置の必要性はない。					
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画・工法で施工しており、重大な問題も発生していないため同種事業に反映すべき事項はない。					